

令和2年4月2日

ご家族様・身元引受人様

浅岸和敬荘
施設長 菅原隆浩

新型コロナウイルス感染症に関わる面会制限について（お願い）

拝啓 春暖の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素、当施設の運営に関しましては、ご理解ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

今シーズンも、インフルエンザ感染症蔓延予防のため、面会制限にご理解・ご協力頂きまして誠にありがとうございました。お陰様で、利用者様はお一人の感染もなく、健康に過ごすことができました。

さて、皆様ご存じのとおり、新型コロナウイルス感染症は世界中で猛威を振るい80万人以上が感染し、4万人以上が亡くなっています。日本国内では、2千人以上が感染し、57名の方がなくなっています。愛知県や兵庫県では福祉施設を介した集団感染が発生しています。中でも千葉県の障害者社会福祉施設では95人の集団感染が発生しています。（4月1日現在）

現状での施設としての取り組みを以下のとおり報告します。施設長をトップに、各部の責任者をメンバーに「新型コロナウイルス警戒委員会」を立ち上げております。職員に対して率先して正しい手洗いや咳エチケット、アルコール消毒を行っております。毎週1回、会議を行い、最新情報の共有や施設内外での新型コロナウイルス対応について評価検討を行っております。すべての職員は、出勤前に体温測定を行い、体調も記録しており、風邪症状のある場合は出勤しておりません。さらに、施設内の各箇所には正しい手洗いや咳エチケット、アルコール消毒等の啓発ポスターを掲示し、利用者様、来荘者に注意喚起を行っております。

新型コロナウイルス感染症対策専門家会議は、4月1日付けで次のように提言を行っております。（以下抜粋）3. 地域の医療提供体制の確保について（2）病院、施設における注意事項「抵抗力の弱い患者、高齢者等が多数感染し、場合によっては死亡につながりかねない極めて重大な問題となる」「面会者からの感染を防ぐため、この時期、面会は一時中止とすることなどを検討すべきである」

また、厚生労働省は2月24日付け事務連絡に「面会については、感染経路の遮断という観点で言えば、可能な限り、緊急やむを得ない場合を除き、制限することが望ましい」と記載しています。

つきましては、皆様には、ご不便・ご心配をおかけしますが、引き続き面会制限をさせて頂きたく、このような状況をご賢察の上ご理解のほどお願い申し上げます。

なお、時々刻々、状況は変化しております。変更が生じましたら速やかに連絡いたします。

敬具